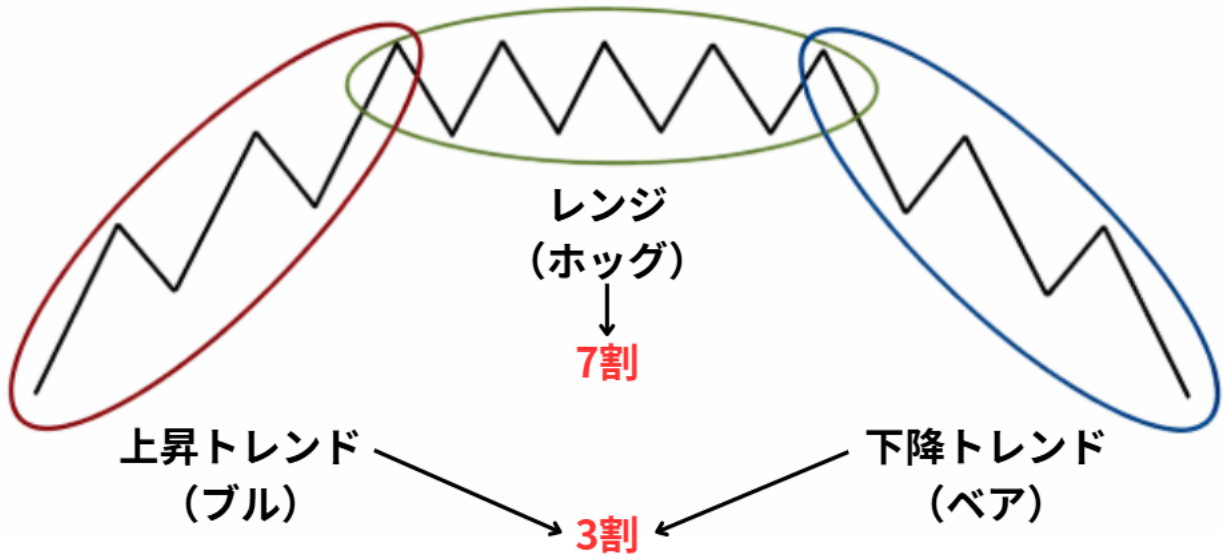


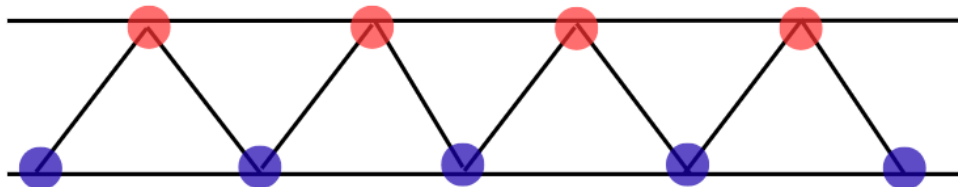
チャートの流れ



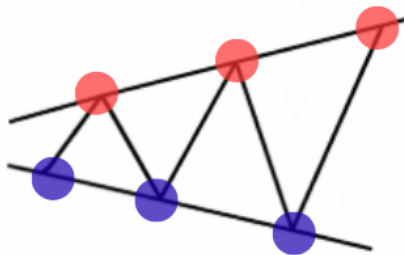
相場は大きく3つの局面に分けられる。

方向感がないレンジ相場が7割、残りの3割が上昇または下降トレンド相場である。

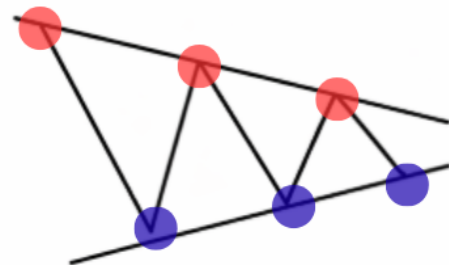
1. レンジ (ホッグ)・・・上にも下にもはっきり進まない相場。



ボックスレンジ



ブロードニングフォーメーション



シンメトリカルトライアングル

ボックスレンジ

一定の価格帯で上下を繰り返す相場。

上限・下限からの反発狙い、抜けた方についていく、何もしない。

ブロードニング・フォーメーション

高値と安値が徐々に拡大していく相場。

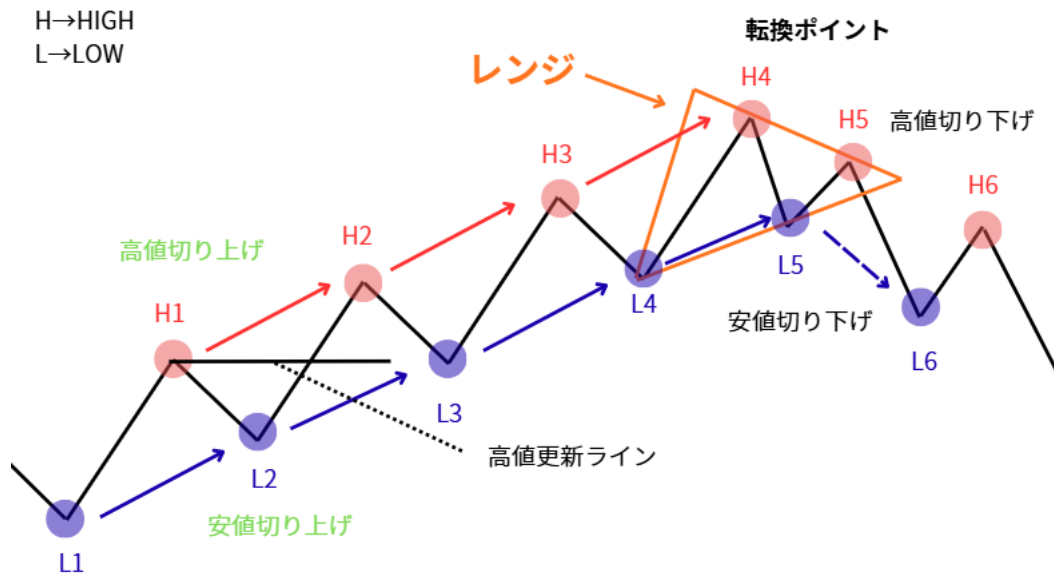
ラインからの反発狙い、抜けた方についていく、何もしない。

シンメトリカルトライアングル

高値と安値が徐々に収束していく相場。

ラインからの反発狙い、抜けた方についていく、何もしない。

2. 上昇トレンド (ブル)・・・高値と安値を切り上げながら進む相場。



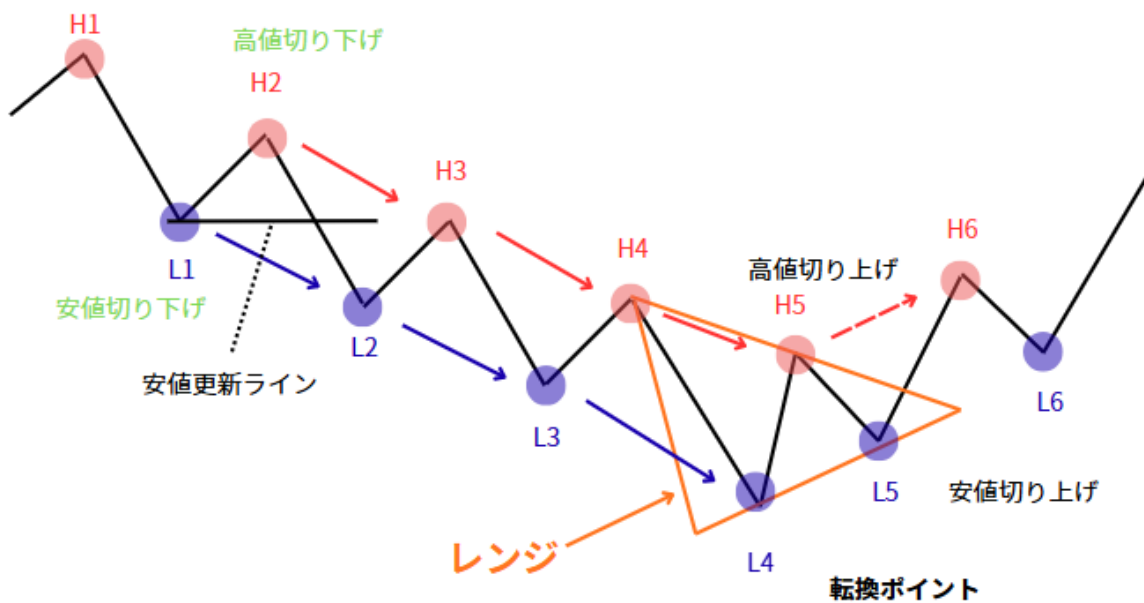
基本は押し目買いを狙う。

L と H の数字が増えていくほど、転換の可能性も高まる。

トレンド継続の見極めは、直近の安値を割るかどうか。

トレンド転換は、高値・安値の切り下げ。

3. 下降トレンド (ベア)・・・高値と安値を切り下げながら進む相場。



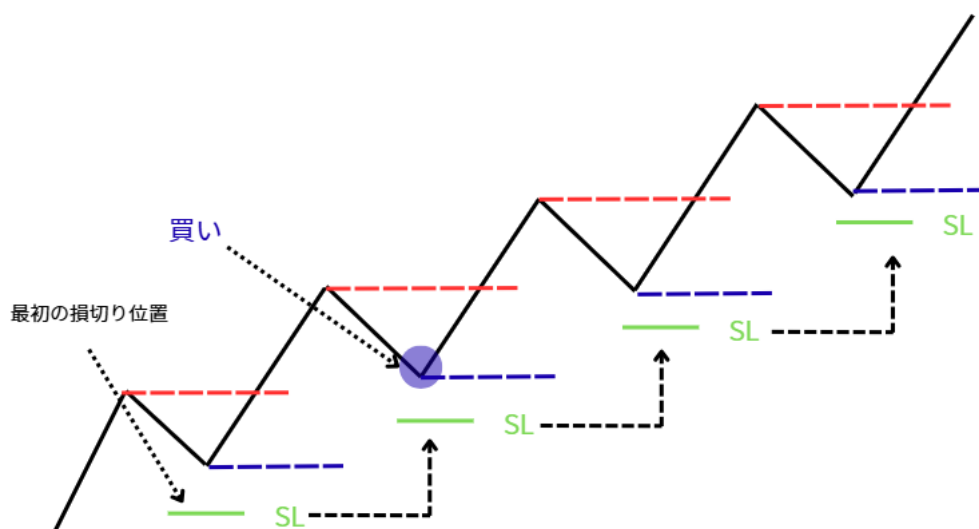
基本は戻り売りを狙う。

L と H の数字が増えていくほど、転換の可能性も高まる。

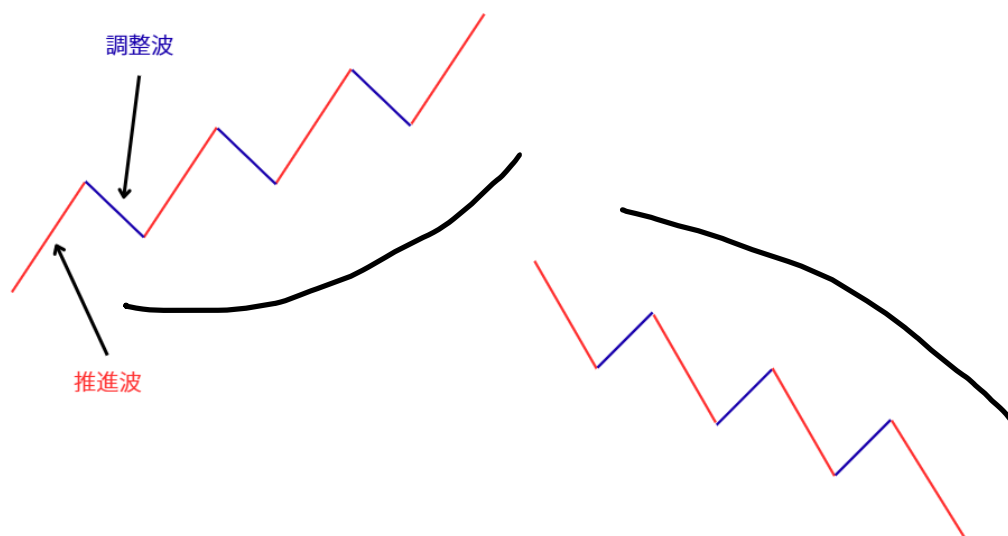
トレンド継続の見極めは、直近の高値を超えるかどうか。

トレンド転換は、高値・安値の切り上げ。

4. 損切りの考え方・・・買いの場合、高値更新した起点となる安値の下。トレーディングストップする場合も高値更新した起点となる安値の下にストップロスをずらして利益を確保していく。売りはその逆。



5. 推進波・調整波・・・トレンドは推進波と調整波があり、推進波は調整波より長い。調整波は推進波より短い。



- ・調整波が推進波と同じ長さになった→トレンド転換とはならない、まだトレンド方向狙い。ただし、三尊でトレンド転換の可能性もある。
- ・調整波が推進波より長くなった→トレンド転換を狙う。
- ・上位足（特に日足、4時間足）から分析していく。そこから下位足（1時間足、15分足、5分足）に落とすのが基本。